

水 圧 試 験

(公道下工事)

○サドル分水栓設置状況の検査

配水管にサドル分水栓を取り付け、ボールコックを開けた状態で、工事場所の動水圧+0.55MPaの水圧で加圧し、取り付け部に水漏れのないことを5分以上確認する。(検査状況写真撮影)

この後、穿孔作業を行う。

○サドル分水栓からメーター止水栓までの装置の検査

メーター止水栓までの配管布設後、サドル分水栓のコックを閉めた状態で0.75MPaの水圧で加圧し、15分確認し記録紙を提出する。

(検査状況写真撮影)

(宅内工事)

○メーター部から下流側の装置の検査

管内の空気を除去し、0.75MPaの水圧で加圧し、15分確認し記録紙を提出する。(検査状況写真撮影)

記録紙は、別途水圧検査結果報告用紙に添付し必要事項を記載し提出すること。